

## 近畿本部経営工学部会2023年10月度 定例部会・研修会 議事録

日時	2023年10月21日(土)	13:30～16:00
開催場所	WEB (Zoom)	
出席者	72名 (別紙1参照)	担当幹事 神原典広、酒本昌子

### 1. 開会挨拶 (13:30～13:35)

70名を超える多数の皆様に参加いただき有り難うございます。夏が終わっても、長く暑い日が続きましたが本日の午前中は近畿本部横の鞆公園の落ち葉が冷たい風で舞い上がっていました。寒暖差で体調を崩さないようをお願いしたいと思います。

話は変わり、第49回技術士全国大会(愛知・中部)が11月17日(金)～18日(土)まで開催されます。17日の午後にはテーマ「経営工学のこれからを考える」という経営工学部会合同専門部会も開催されます。部会、経営工学部門の技術士として振り返り、これからの取り組みを再考する機会になると思っております。

これに関連し、9月・10月の近畿本部のイベントについて、後ほど報告したいと思います(「4.」参照)。技術士全般の課題として、①技術士の知名度・認知度向上、②活動実績などを通じた「技術士」の技術的な存在価値のアピール、③近畿本部内組織、企業との連携、かつ士業間連携による更なる社会貢献、④特に経営工学部門として、単独の活動はもちろん社会の複雑化する課題に各技術分野の技術士との連携が必要不可欠になっていること、が挙げられます。

これらの課題に対して、我々は経営工学領域のみならず、広い技術分野の知識、できれば経験を持ち合わせていくことが求められています。経営工学の知識、各技術分野の知識は「タンス」と考えており、個々の「引き出し」をどれだけ増やせるかが重要で、本日は松下先生のご講演により引き出しを1つ増やしていただきたいです。

### 2. 研修会 講演70分・質疑応答 35分 計105分 (1.8時間) (13:35～15:20)

- ・演題：「作成資料の高付加価値化に役立つ産業・企業分析方法」  
～統計データの活用、および経営分析ツールによる財務診断～
- ・講師：松下 隆(まつした たかし)氏 大阪府商工労働部 大阪産業経済リサーチセンター  
主任研究員／中小企業診断士(工業)

別紙2 研修会記録をご確認ください。

### 3. 新入会員紹介

### 4. 技術士会／近畿本部および経営工学部会の活動報告 (15:32～15:41)

- ・国際フロンティア産業メッセ 9月7日(木)～8日(金)
- ・大阪勧業展2023 10月18日(水)～19日(木)

### 5. 技術士会、近畿本部、および経営工学部会の活動予定 (15:41～)

#### (1) 今後の主な活動予定

- ・2023.11.11(土) 修習技術者発表研究年次大会 近畿本部会議室・中国本部
- ・2023.11.17(金)～20(月) 第49回技術士全国大会(愛知・中部) 名古屋国際会議場
- ・2023.11.17(金) 日本技術士会 経営工学部会 合同専門部会 名古屋国際会議場
- ・2023.11.24(金) 技術士業務研究会・経営工学部会共催見学会 NITE大阪事業所
- ・2023.11.26(日) 令和5年度技術士第一次試験
- ・2023.12.2(土) 第5回わたしのコンピテンシー発表会 近畿本部会議室
- ・2023.1.14(日) 第17回災害対策セミナー 神戸市中央区文化センター
- ・2023.1.20(土) 新春講演会 大阪科学技術センター
- ・2023.2.1(木) 第9回協賛団体特別セミナー(未定)
- ・2024.2.10(土) 地域産学官と技術士との合同セミナー 大阪科学技術センター
- ・2024.2.17(土) 倫理シンポジウム2023 大阪科学技術センター

#### (2) 近畿本部 経営工学部会

- ・12月度 例会・研修会 12/16(土) 14:00 (開始時刻にご注意ください)

近畿本部+ WEB開催 (Zoom)

演題 「エアバッグインフレーターリコールの原因を読み解く」

講師 小田慎吾氏 (技術士・化学部門) 小田技術士事務所代表

世界的規模のリコールとなったエアバッグインフレーターの破裂原因について、米国から発表された報告書や火薬学会誌などを読み解き、技術的視点と管理的視点から再発防止を考える。

例会終了後、忘年会開催の予定

・ 2 月 度 例 会 ・ 研 修 会 2 0 2 4 / 2 / 2 4 ( 土 )

## 6. 自由発言、その他

### (1) 報告・連絡

・ 弁理士の管理知財や特許の話が技術士会に知っていただくというイベントを開催した。今後も実施していこうという話になっている。

・ 11月3日が中小企業診断士の方が実施するイベントがある。士業連携として技術士会としても参加するため、お時間のある方は11月3日の午後マイドーム大阪にお越しいただきたい。

### (2) 意見

・ 中小企業診断士は国策で中小企業を支援・伴走しているのに対し、技術士の役割には非力さを感じている。JABEEの裾野を広げる形にすれば良いのではないか。

また、技術士をコンサルタントとして考えた場合、外部からの支援依頼に対して、技術士会としてどのような流れでどういう方に受けてもらうことになるのかわからない。

・ 「お悩みございませんか？相談に乗ります」というスタンスで、近畿本部が窓口になり、案件についてしかるべき人に確認の上、お互い納得の上で相談の解決に努めるようにしている。JABEEは具体的な話はなく、どうしても学校からの申請が必要になるため、あくまでもJABEEについてどのようなものを学校に伝えるくらいしかない。JABEE制度は、計画的にやっていく必要がある。

・ 近畿本部には修習技術者支援委員会があり、今も裾野を広げるための活動を行っている。

中小企業診断士では診断協会と診断士会という2つの組織があり、診断士会が積極的な企業支援の活動をしている。技術士でも、有志のグループが活発に支援活動をしている。

## 7. 閉会挨拶

(~16:02) (担当幹事)

以上